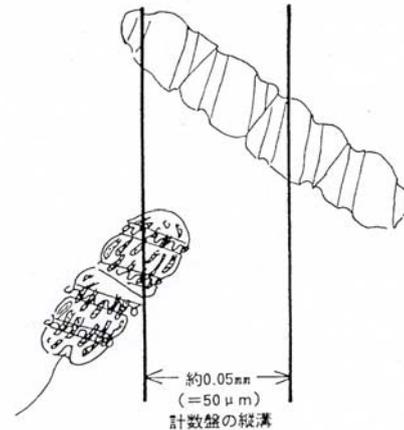


8 コクロディニウム ポリクリコイデス

【重要種】

Cochlodinium polykrikoides

(渦鞭毛藻)



1. 2細胞連鎖
2. 8細胞連鎖
3. 8細胞連鎖の拡大

スケールバー 20 μm (0.02mm)

特記事項

九州八代海においてハマチの大量斃死を引き起こしている種である。香川県において被害事例はない。2~8細胞が連鎖を形成し、回転しながら活発に動く。濃淡の明瞭なパッチを形成する。数千 cells/mL以下でも被害が発生している。

形態および泳ぎの特徴

横溝は体を約2周している。体長、体幅ともに20~30 μmで僅かに扁平。黄褐色。2~8細胞が連鎖を形成し活発に泳ぐ。

類似種との区分

殻を持たず、連鎖を形成する種はコクロディニウム ポリクリコイデスの他に数種類あるが、横溝が約2周していることで他種と区別できる。

計数法

処理しないと活発に泳ぎ計数は困難である。計数盤に入れたサンプルに弱い電流を流すと、細胞の活力が低下し容易に計数ができる。ただし、細胞の形態が球形化するので、あらかじめ形態や泳ぎの特徴を観察しておく必要がある。

出現期、水温、水域

8~9月、25~27°C、県下全域（播磨灘に多い）

赤潮、被害事例

赤潮：平成3、4、10、12、13、15年（播磨灘）、平成8年（内海湾）、平成11年（備讃瀬戸）

被害：平成8年（内海湾）

県外の被害事例：八代海（熊本県、鹿児島県）、三重県、高知県で被害発生。